

「高校生のための学びの基礎診断」認定にあたっての指摘事項

団体名：株式会社 ベネッセコーポレーション

測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト

I. 出題に関する事

- 基礎診断の趣旨を十分に踏まえて、出題範囲（領域）や出題割合、難易度設定、測定方法について改善すること。
- 英語において、日本語での解答を求める測定方法が適切かどうかなど、測定方法の必要性・妥当性について検証することが強く求められること。
- 英語の4技能測定機能のうち、「話す」技能測定についても本ツールで対応できるよう努めること。

II. 結果提供に関する事

- 基礎診断の趣旨も踏まえて、教員の授業改善や学習意欲の向上等に十分に資する結果提供となるように評価基準の設定も含めて検討すること。

III. 運営その他に関する事

- 学校等が同じ条件の下、円滑に認定ツールを当日運営できるような実施方法及び、障害のある受検者への配慮について改善に努めること。
- 基礎診断の趣旨を踏まえた、教員の授業改善や学習意欲の向上等に十分に資する資料の内容となるよう改善に努めること。
- 生徒の学習状況・学習に対する姿勢や学習に関する生活習慣等を把握することのできるアンケートを実施するように努めること。また、当該アンケート結果について分析し、統計化されたデータを公表するよう努めること。

(以上)